

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

一人ひとりが輝く男女共同参画社会のまちづくり

2 地域再生計画の作成主体の名称

浦添市

3 地域再生計画の区域

浦添市の全域

4 地域再生計画の目標

本市は、東シナ海と県都那覇市の北に面しており、東西 8.4km、南北 4.6km という狭い市域のうち、さらに約 15% 近くを米軍基地に占められている。しかし、沖縄県の大動脈となる国道 58 号線、国道 330 号線が縦断するなど、恵まれた交通アクセスを背景に、那覇市のベッドタウンとして発展しており、平成 18 年 8 月 31 日現在の住民基本台帳登録人口は 108,193 人となっている。また、全国的に少子高齢化が進む中、平成 17 年度末の合計特殊出生率が 1.86（全国平均 1.26）、平均年齢は 36.42 歳となっており、比較的若い世代の多いまちとなっている。

このような中、本市では、平成 3 年に『てだこ女性プラン』を策定し、女性や青年の活動拠点施設の建設、女性団体連絡協議会の結成等の施策を進めるとともに、「第三次総合計画」にて“一人ひとりが輝く男女共同参画社会の実現”を掲げ、真の男女平等を保障し、市民個々が多様な個性と能力を發揮できる社会の実現に向け、社会的環境整備に取り組んできた。しかし、平成 16 年度より実施している市民とのワークショップにおいて、古い制度や慣習に起因した性別による固定的役割分担意識の払拭が、現時点で必ずしも十分ではないことが指摘され、社会全般における女性の参画や、教育や交流の場における男性の参加の少なさ、世代間の意識差によりまちづくりの取組が停滞している等の課題が浮き彫りになった。

当市ではこの課題の改善に向けて男女共同参画社会基本法（平成 11 年 6 月 23 日法律第 78 号）及び第 2 次男女共同参画基本計画（平成 17 年 12 月 27 日策定）に基づき、同法にも記載されている『男女が互いにその人権を尊重しつつ、責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる社会づくり』を目標とし、平成 17 年 3 月に『第 2 次浦添市男女共同参画行動計画～てだこ女男プラン～』を策定したところである。また、本行動計画において、市民と行政が協働するアクションプランとして、育児や家事、地域活動、まちづくりに対する男性の積極的な参加の促進と、女性が積極的に社会に参画できる環境を整えていくことを実行するための具体的な案である『メンズキッチンデー』を掲げ、男女共同参画社会の実現に向け取り組んでいるところである。

本行動計画では、「あなたとわたしのチャンスは平等 同じ社会の女男だから」を標語として掲げ、全ての市民を対象として、男女がお互いを認め、人権を尊重しあい、社会の対等な構成員として、自分の意志で社会のあらゆる分野の活動に参画する機会が保障される地域社会づくりを目指し、以下のような計画を予定している。

メンズキッチンデー割引セールの実施による地域活性化
メンズキッチンデーにちなんだ料理講習会、学習会の開催
食を通しての健康管理、家計管理、環境問題との連携
男女共同参画を促す男性のコミュニティづくり
男性の活動を支援する女性のコミュニティづくり

以上の計画実施と合わせて、地域通貨を導入することにより、世代間交流や地域間交流を活性化し、男女を問わず、それぞれの個性と能力を活かしたまちづくりへの参加の促進と、「メンズキッチンデー」及び男女共同参画社会の理念の更なる普及を図り、先に挙げたこれまでの施策展開における課題の解決を目指す。

また、地域通貨の導入に際しては、本再生計画における ICT を活用した地域通貨システム及びそれと連携する取組の実施により、市民が解りやすく参加しやすいアクションプランの実行を図り、男女が助け合える家庭・地域・職場づくりを推進し、「一人ひとりが輝く男女共同参画社会」の実現を目指す。

- 【目標 1】 地域通貨利用者数 1000 名(初年度) 2000 名(平成 20 年度)
- 【目標 2】 メンズキッチンデー参加者

100名(初年度) 200名(平成20年度)

5 目標を達成するために行う事業

5 - 1 全体の概要

市民、市民団体、NPO法人、企業などと行政が協働し、男女共同参画のまちづくり事業への参加を促す手段として、地域通貨システムを導入し、さらにてだこ女男プランに基づく各種計画を実施することにより、本市が定めた「メンズキッチンデー」及び関連事業の周知や「男女共同参画社会」に関する市民意識の高揚を図り、「一人ひとりが輝く男女共同参画社会」の実現と、そのための人づくり、まちづくりを支援する。

5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

該当なし

5 - 3 その他の事業

5 - 3 - 1 地域再生基本方針に基づく支援措置による取り組み

【 C0404 地域通貨モデルシステムの導入支援 】

「一人ひとりが輝く男女共同参画社会のまちづくり」の実現のためにメンズキッチンデーを始めとする関連事業の推進と、地域再生を図るためのツールとしてICカード(住民基本台帳カード)を利用した地域通貨システムの活用を図る。

具体的には、メンズキッチンデー実行委員会を設立し、メンズキッチンデー及び男女共同参画関連事業への地域通貨の活用方法を検討するとともに、その結果に基づいた地域通貨の管理運営を行う。

本事業については、市内各団体や企業を通じて参加希望者を募るものとし、初年度利用者数は1000名を目標とする。以後、対象事業の拡大、サービスの拡大を図り、最終的には本市の多用な事業、市内団体等の様々な活動に対して利用可能な地域通貨システムの構築を目指す。

地域通貨の運用については、本事業への参加登録の時点で初期ポイントを交付し、その後実行委員会が展開する事業へ参加した参加者に対し、地域通貨を交付することとする。参加者が入手した地域通貨は、市内の公共施設使用料の一部や、市内協賛企業・団体の提供するサービス対価の一部、個人間の取引等に利用可能とすることにより、第2次浦添市男女共同参画

行動計画の更なる推進、知名度向上を図る。また、本事業の推進によりそれぞれの個性を認め合う社会基盤を固め、市民のあらゆる活動への積極的な参加を促し、多様な個性と能力を発揮できる地域コミュニティを構築し、市民の交流が活発で平和なまちづくりの推進、並びに地域における経済活性化へとつなげていく。

5 - 3 - 2 地域再生基本方針に基づく支援措置によらない取り組み

(1) 男女共同参画社会に関する学習会等の実施

本市の策定した「第2次浦添市男女共同参画行動計画」に関し、個別のテーマを設けた学習会及び同計画の施策展開に沿った事業を実施し、本市の掲げる「一人ひとりが輝く男女共同参画社会の実現」について市民が学習活動等をし、「男女共同参画」に関する理解を深め、地域におけるリーダーやコミュニティづくりを促す。

「てだこ女男^{ひと}プラン」メンズキッチンデーを学ぼう

地域を担う人材を育成し、これからの地域活動につなげるべく、

「てだこ女男^{ひと}プラン」や地域の伝統行事等を学ぶ

ジェンダーについて

「ジェンダー」とは何かについて、身近な事例を取り上げ、解りやすく学ぶ

DV（ドメスティック・バイオレンス）について

夫婦や恋人のような親密な関係にある人からの暴力であるDVについて、その対処方法や見過ごされがちな問題について学ぶ

(2) 各種セミナーの実施

各種セミナーを実施することにより、男女を問わない個々の能力の発見・再確認をしてもらい、本市の目指す男女共同参画社会のまちづくりへの関与の促進、あるいは職域を中心とする新たなコミュニティづくりを促す。

企業出前セミナー

男性を主体とした職場を訪問しての「第2次浦添市男女共同参画行動計画」に関する紹介

居酒屋メンズキッチンセミナー

居酒屋という民間事業所を使った男性向けの料理講習会
世界料理セミナー

市内に立地する沖縄国際センター（JICA）での世界料理セミナー
でのボランティア活動に対し、市民が参加協力
メンズキッチンポイントデー

市内スーパーや小売店舗においてイベントを開催し、男性への家事への積極的参加を促す

6 計画期間

認定の日から平成20年度まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

(1) 評価の時期

初年度：実証実験終了後 1ヶ月以内

最終計画年度：本再生計画期間終了後 1ヶ月以内

(2) 評価の方法

実施事業への参加した市民の数、ICカード（住民基本台帳カード）の発行枚数、地域通貨発行高の集計を本市が行うとともに、本事業に関連した各団体、協賛事業者、参加者を対象とするアンケート調査を実施するなどして、定量的・定性的な分析を行う。

分析結果は本市ホームページ、広報等を通じて公表する。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項 該当なし